

## Mt.FUJI100 2025 全体説明会議事録

日時：2024年9月18日（水）13:30～15:00

会場：富士吉田商工会議所 2階大会議室

出席者：

### Mt.FUJI100 全体説明会

#### 出席者名簿

2024年9月18日

No	氏名	所属・部署
1	渡辺 昭	富士五湖消防本部 救急課
2	池田 真人	環境省自然公園指導員・国内希少野生動植物種保存推進員
3	半場 良一	環境省国内希少野生動植物種保存推進員・山梨県動植物保護推進員
4	秋元 芳武	ロプロイネイチャーナビ
5	武居 邦広	関東森林管理局 山梨森林管理事務所
6	鍋木 毅	Mt.FUJI100実行委員会 大会会長 一般社団法人富士箱根伊豆トレイルサポート 代表理事
7	福田 六花	Mt.FUJI100実行委員会 実行委員 レースプロデューサー
8	三浦 務	NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部 事務局長
9	千葉 達雄	Mt.FUJI100実行委員会 レースディレクター 株式会社ソト工代表取締役
10	田近 義博	Mt.FUJI100実行委員会 運営ディレクター リージョンポート合同会社代表
11	岡嶋 智己	Mt.FUJI100実行委員会 競技ディレクター 株式会社アールピース
12	市川 洋介	富士市 交流観光課
13	影山 智海	富士市 交流観光課
13	神谷 知里	Mt.FUJI100実行委員会 事務局
14	関谷 正太郎	Mt.FUJI100実行委員会 事務局
15	鈴木 磨美	Mt.FUJI100実行委員会 事務局
リモート出席		
16	中田 龍太郎	富士宮市消防本部 警防救急課
17	齋藤 幸司	峡南広域行政組合消防本部 警防課 警防係
18	池田 正樹	静岡県 東部農林事務所森林整備課
19	細萱 宏樹	静岡県 ぐらし・環境部環境局自然保護課
20	織田 遼太	静岡県 ぐらし・環境部環境局自然保護課
21	堀口 雄平	山梨県環境・エネルギー部 自然共生推進課
22	田中 千夏	山梨県環境・エネルギー部 自然共生推進課
23	増田 百恵	御殿場市 スポーツ交流課
24	片田 悠貴	身延町 企画政策課
25	北川 浩正	富士河口湖町 生涯学習課
26	小林 優太	山中湖村 観光課
27	小林 香織	Mt.FUJI100実行委員会 事務局
28	鶴飼 憲一	Mt.FUJI100実行委員会 事務局
29	根岸 尚宗	Mt.FUJI100実行委員会 事務局

## 議題

### (1) 2025 大会運営計画説明

- ・大会概要について
- ・コースについて
- ・安全管理体制及びコースの迂回について
- ・自然環境に配慮した持続可能な大会運営のために

### (2) 質疑応答

### (3) その他

#### <大会会長挨拶 鎬木>

「残暑が厳しい中お越しいただきありがとうございます。大会創設から 15 年となり、1 つの区切りを迎えて、次の 10 年に向けてのリスタートとなってきたかと思えます。メンバーも組織も変わってきていますが、日本、アジアの最高峰のレースであること、富士山をテーマとした静岡県と山梨県を結んだ祭りのようなイベントとして後世に引き継いでいきたいと思っております。来年の開催日程、スケジュール、エントリー基準等今回もまた変更点があり、新カテゴリーがあり、皆様にはご負担が多くなってしまと思いますが、できる限りのご協力をいただければと思っております。

トレイルランニングというスポーツは世界で年 5% の成長を遂げており、将来オリンピック種目になるという話もあります。今回 40km の新しいレースも創設させていただきました。たくさんの人たちが注目している大会であります。今回も忌憚のないご意見を賜ればと思っております。」

### (1) 2025 大会運営計画説明

(事前配布資料「運営計画書」に沿って説明)

#### <コースディレクター 千葉>

開催日：2025 年 4 月 25 日 (金) ~ 27 日 (土)

受付も含めて 3 日間で行う

競技種目：FUJI100mi (フジ 100 マイル) 2,400 名

距離約 168.0km 累積標高 6,254m

参加費 46,000 円 駐車場料金 3,300 円

サポーター 500 名 金額 3,300 円

4 月 25 日受付

4 月 25 日 17 時 00 分から 17 時 45 分

昨年送電線箇所などで渋滞が起こったため 15 分刻みでウェーブスタート

最終制限時間 4 月 27 日 14 時 30 分

KAI70k (カイ 70 ケイ) 1,000 名  
距離 70.2km 累積標高 3,052m  
参加費 30,000 円 駐車場料金 2,200 円  
4 月 25~26 日受付  
4 月 26 日 13 時 30 分スタート  
最終制限時間 4 月 27 日 10 時 30 分

ASUMI40k (アスミ 40 ケイ) 200 名  
距離 38.5km 累積標高 1,481m  
参加費 22,000 円 駐車場料金 1,100 円  
4 月 26 日受付  
4 月 26 日 19 時 00 分スタート

エントリー期間：2024 年 11 月 1 日 (金) ~17 日 (日)  
2024 年 12 月 3 日 (火) 当選発表

主催：Mt.FUJI100 実行委員会

一般社団法人富士箱根伊豆トレイルサポート

マウントフジ共同事業体

(株式会社ソトエ、リージョンポート合同会社、株式会社アールビーズ)

株式会社アールビーズの共同代表が兼島奈々に変更

後援：本大会では静岡県にも申請予定

参加資格：参加資格を緩和。間口を広くし、参加しやすくした

過去 2 年以内に ITRA が認定する以下の規定のレースに完走していること

FUJI100mi ITRA Points 4 以上の 1 レースもしくは ITRA Points3 の 2 レース

FUJI100mi ITRA Points 2 以上の 1 レース

FUJI100mi ITRA Points 1 以上の 1 レース

競技規則：妊娠延期ポリシー、ITRA グリーン憲章が追加

イベント・その他

Virtual FUJI/KAI 2024 年 10 月 5 日~14 日から開催

EXPO 2025 年 4 月 25 日~27 日 富士北麓公園内で開催

Mt.FUJI100 Mini 日程検討中

コース

(コースマップを参照に福田より説明)

コースマップ7 北麓公園へ至る道を変更。ASUMI のコースが追加

コースマップ8 山中湖きららから明神山へ至る登山道が廃道になるためコース変更

大会に関する質疑応答

<富士五湖消防本部救急課 渡辺様>

・ ASUMI40k の選手駐車場の富士五湖聖苑は正式に決まっている話で間違いないか。

<コースディレクター 千葉>

・ 決まっている。

<関東森林管理局 山梨森林管理事務局 武居様>

・ 送電線の箇所に保護林があり、モニタリング箇所として追加していただくことは可能であるか。またこのエリアは新しい熊の被害があるのでそちらも周知いただけると良い。

<コースディレクター 千葉>

・ モニタリング箇所のデータをお送りするのでご確認いただき、モニタリングの必要箇所をご支持いただけるとありがたい。

<静岡県東部農林事務所森林整備課 池田様>

・ 多数の方が走って通過するという事で、道が削られたり、草が踏み潰されているのを提出していただいている完了届けの写真に見受けられる。今後年数を重ねていくことでモニタリング箇所以外でもコース全線でそのようなことがないか確認をしていただき、遊歩道管理者ときちんと調整し実施していただき、特別地域内は歩行のみとし走行を許可しないということも考えられるので対応をお願いしたい。

<コースディレクター 千葉>

・ 承知しました。

自然環境に配慮した持続可能な大会運営のために

<富士トレイルランナーズ倶楽部事務局長 三浦>

(静岡山岳自然ガイド協会ガイド吉田様よりの報告書に沿ってご説明)

P3 2024 年調査

出現種数 34 種、総出現個体数 165 個体

ジュウイチ、ホウアカが今回初めて見受けられた

K0 から K2 夜間帯の走行のため出現数は限られていた

K2 から K3 出現種数 29 種

クロツムギなど 6 種が初めて見受けられた

2024 年は開催日が数日ずれたことにより、夏鳥や漂鳥が飛来したのではないかと考えられ

る

P7 明神山は草原性の野鳥が多く生息する地域だが野焼きが行われるタイミングがあり、出現数に影響があると考えられる

P8 杓子山頂の鐘を鳴らすことによって野鳥への影響がある可能性があるため、選手へは鐘を鳴らさないように告知をしているが特に影響は出ていない

3年の調査を続けた結果、ルート状を走行するぶんには直接の影響はないのではないかとこの結論づけた

鳥類調査報告に関する質疑応答

<環境省国内希少野生動植物種保存推進員 半場様>

・何を根拠に繁殖に影響がないと言っているのか。鐘の音で影響があるというのに、人が走っていることが野鳥に影響がないわけではない。吉田さんを信用できない。出現数と繁殖数とはどのような関係性があるのか。出現数の増減は繁殖に全く関係がない。きちんとしたデータを寄越して欲しい。

<富士トレイルランナーズ倶楽部事務局長 三浦>

・こちらの報告書に書いてあるとおりであること。我々は断定することはできないが、専門家に調査を依頼し、毎年同じ場所での出現データを拝見する限りでは、吉田さんのご意見のとおりだと感じている。繁殖に影響があれば出現数も減るとというのが一般的な理解ではないかと考える。

<環境省国内希少野生動植物種保存推進員 半場様>

・繁殖に影響がない時期に開催日を変更してほしい。野鳥に関して全く考慮がなされていない。

<コースディレクター 千葉>

・開催時期に関しては、環境面、各会場地域等を考慮して、すべての可能性を検討しながら開催日を毎回決定している。この時期以外での開催はできないのが現状である。

野鳥の調査は NPO 法人富士トレイルランナーズ倶楽部が独自の判断で行なっているものであり、大会事務局から依頼しているものではない。NPO 法人富士トレイルランナーズ倶楽部は環境面からフラットに見て意見を述べているものである。

<ロブロイネイチャーナビ 秋元様>

・靴の選択でタイムが縮まる効果が山を走ることにおいても想定されるが、靴の規制やチェックはされているのか。

<コースディレクター 千葉>

・トレイルランニングの世界では靴の規制は行われていない。細かい規定は今のところはないが、オリンピック競技になった場合はウェアやギアに規制が行われるかもしれない。

(3) その他

- ・9月22日16時半からNHKBSにて「#ZKトレラン旅～2024@富士山167km～」放送
- ・10月上旬にNHKWorldでの海外放送予定

<レースプロデューサー挨拶 福田>

「今日はお集まりいただきありがとうございました。環境面、安全面をしっかりとやりつつ世界中の方に感動を味わっていただける、富士山の素晴らしさを知っていただける大会にしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

毎年お越しいただき、色々な貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。決して半場さんの意見をやり過ぎしているわけではありません。ごもっともな意見もございますが、変えられないこともございます。今後もお付き合いいただけたらと思っております。ご意見は聞いて対処していきますのでご指導いただきたいと思っております。今後も末長くよろしくお願いいたします。」

議事録作成：Mt.FUJI100 実行委員会  
事務局 鈴木磨美